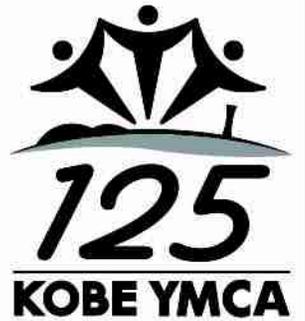




Y M C A NEWS



神戸青年

No. 600

2010.3

March

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7
THE YMCA神戸版 発行人/水野 雄二 編集人/坂本 庸秀
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15
TEL. 078-241-7201 FAX. 078-241-7479
URL http://www.kobeymca.or.jp 印刷/わかばやし印刷

神戸YMCA
年間聖句

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに
愛し合いなさい。(ヨハネによる福音書 13:34)



またこの
の絵画展
は、世界
の平和を
願って、
各国の子
どもたちが、それ

去る1月24日〜2月23日
まで、「第7回平和のため
の子ども巡回絵画展」が開
催されました。同展は、昨
年10月から中国・天津、米
国・セントルイス、タイ・
チェンマイを経て、2月に
日本・神戸、そして3月に
韓国・釜山でフィナーレと
なります。2003年に天
津YMCAの呼びかけで始



第7回平和のための 子ども巡回絵画展が開催されました



ことにより「平和」に対す
る心を広めようというもの
です。
今回の神戸での絵画展
は、一人でも多くの方々
に絵画を見ていただくこ
とを目的に、神戸YMCA
Aに関係する3会場の協力
を得て開催することができ
ました。阪神御影駅すぐ北
の御影クラッセ4階にある

「ユースプラザKOBÉ・
EAST」ではフリース
ペースを利用する中高生の
皆さんを中心に、また「兵
庫県立文化体育館」では館
を利用する多くの皆さん
に、「神戸YMCA三宮会
館1階」では小さな子ども
たちから成人の方々まで訪
れた多くの皆さんにご覧い
ただきました。
各国の子どもたちの個性
溢れる絵画が、見る人それ
ぞれに違った印象を与え、
一人ひとりの心に平和への
メッセージが届けられたこ
とを信じて、これからも平
和への歩みをつづけていき
たいです。

新春YYフォーラム開催!



【会場のようす】

去る1月9日(土)に
2009年度新春YY
フォーラムが開催されまし
た。
ワイズメンズクラブとの
共催で、神戸YMCAユ
ース委員会が中心となり企
画、準備を進めてまいりま

した。
当日はワイズメンズクラ
ブ、ボランテイアリーダー
会、職員、発表者を含め約
150名が集いました。高
校生の司会による礼拝から
スタートし、ボランテイア
リーダー会にも積極的にお
手伝いいただき、最後まで
大いににぎわいました。ス
テージ発表者が多く集ま
り、タイトなスケジュール
となりましたが、参加者に
とっては見ごたえのあるイ
ベントになったのではない
でしょうか。
グループ討議では、テー
マ「YMCA発!世の中を



【キャンパスソングを大合唱】

明るく元気にするプロジェ
クト!」について、ユニ
クなアイデアがたくさん出
されました。せつかくの機
会なので、ただ語り合うだ
けではもったいない!とい
うことで、ユース委員会の
次の使命はこのアイデアを



イースター早天礼拝のご案内

日時: 2010年4月4日(日) 午前7時~
場所: 神戸東遊園地
(雨天: 神戸YMCAチャペル)
奨励: 藤原 寛人 牧師
(日本基督教団神戸北教会)



松崎 宏紀

生かしていくことだと考え
ております。
最後にこのイベントの企
画運営にあたり、ご支援い
ただきました多くの方々
心より感謝申し上げます。
(2009年度
YYフォーラム実行委員会

【修学旅行を楽しむ学生 卒業式はもうすぐ】

「もういい」と思えたそうで
す。◆今年も24名の生徒達が卒
業していきます。過去をキャ
リアとして活かし、心豊かな
人生を歩んで欲しいと願って
います。(和田 雪)



神戸YMCAに
高等学校がある
のを存じて
しようか。現在
は80名ほどの高
校生達が、進
学・就職をめ
ざして全日制の学校生活を
送っています。生徒達は、不
登校や挫折などさまざまな経
験と悩みや苦しみを抱えてこ
の学校にやってきました。その
彼らが、自信と希望を取り戻
し心身共に健康になつて社会
に巣立っていくことが、私た
ちの大きな喜びであり、「Y
MCAの学校」の使命である
と考えています。◆毎年新入生
がやってくる。◆今年まで
のことは大切に箱にしまいま
しよう。◆という提案をしま
す。◆私たちの「過去」には何
一つ無駄なことはありません。
良いことも嫌なことも、すべ
てがはずれキャリアとして役
に立ちます。だからどんな過
去も、捨てたり忘れたりする
必要はありません。むしろ大
切な財産です。ただ、高校生
にとつて小・中学校はまだ完
全な「過去」ではないため
に「今までのこと」をキャリ
アとしてプラスに活かすこと
ができません。ところが高校
卒業と同時に、それまでの学
校生活が完全な「過去」にな
り、初めて役に立つのです。
それまでは「今までのこと」
をすべて心の箱にしまつて
、大切に保管しておこうと
いうのです。◆ある生徒は、実
際に自分の部屋の大掃除をし
て「今までのこと」をすべ
て押入の奥にしまいました。
「もういい」と思えたそうで
す。◆今年も24名の生徒達が卒
業していきます。過去をキャ
リアとして活かし、心豊かな
人生を歩んで欲しいと願って
います。(和田 雪)

【～ A Special gift for children ～ 被災地児童招待キャンプ(余島クリスマスキャンプ)のご報告】



2009年8月、台風9号は兵庫県西北部を中心に大きな被害をもたらしました。私たちは、皆様の支援により、特に大きな被害があった佐用町の小学校5校に通う子どもたち63名を2009年12月26日～28日の2泊3日、神戸YMCA余島野外活動センターへ招待し、被災地児童招待キャンプを実施しました。

余島では冬にもかかわらず天候に恵まれ、カヌーやローボート、釣りに挑戦したり、さまざまな貝を集めたりしました。また、芝生のグラウンドではグループの枠を越えてサッカー大会や花いちもんめを楽しみました。全身を使つてのびのびと遊び、楽しい時に大きな声を出したり、笑つたりしている様子を見ていると、子ども



もたちが本来の姿を取り戻しているように感じました。

神戸YMCAは、1995年の阪神淡路大震災の際、子どもたちの心のリフレッシュにと、いち早く避難所の子どもたちと「遊ぶ」ボランティア活動を実施しました。そして、阪神淡路大震災以降は被災地支援活動、特に子どもたちの心と体のケアに取り組んでおり、2004年の台風23号の被害にあつた豊岡市の被災児童も余島へ招待しました。子どもたちは日常を離れることで、親や周囲に気を遣うことなく、「自分らしさ」を出すことができたのではないのでしょうか。

最後になりましたが、子どもたちにとって貴重な体験となつたキャンプ実施にあたり、個人や団体としてご協力いただいた方々はもちろん、さまざまなイベントや街頭などででの募金活動に参加してくださつた方々、そしてこれらの募金にご理解を示してくださつた大勢の方々に厚く御礼申し上げます。

文化体育館、ゴスペルコンサート報告

1月17日(日)震災の日に県立文化体育館主催で『震災から15年』500人のゴスペルコンサート』が実施されました。

当日は観客1,062人、出演655人の合計1,717人が文化体育館に集まりました。YMCAからも多くのボランティアが加わり、盛大にコンサートを開くことが出来ました。お支えいただいた皆さんに感謝申し上げます。

ただき、中には文化体育館で当時避難生活を送られていた方もおられました。また、震災の日に生まれた子が出演するという事で、メディアにも大きく取り上げていただきました。これから毎年続けて、震災の日の定番になるようなイベントになればと思つていきます。

当館は震災当時、2年7ヶ月にわたつて避難所となつており、最大で1,133名の方が避難生活を送つておられた施設でもあります。それだけに、多くの方が思い入れを持つておられ、今回コンサートを募集するにあたり、一般のシンガーを募集したところ約500名の方に応募



*兵庫県立文化体育館は長田区にある神戸YMCAが指定管理者の一員として運営に携わらせていただいている施設です。

賀川豊彦献身1000年記念コラム

賀川献身1000年事業は、前回までのコラムでも記したように様々な仲間の再開の場となりました。12/22に1,600名が集つた記念式典を一つの区切りとして、次の1000年への歩みを始めましたが、ここからが真の始まりなのです。記念式典で日野原先生や野尻先生、また神戸Y



MCAの今井顧問が語られたように「平和の実現には子どもへの教育が大切」なのです。YMCAでもチームとして捉えることなく、ムーブメントとして、賀川が残した種を大切に、仲間たちと共に子どもや若者の「いのち」を育み、平和な社会を創つていくことを目指していきます。



感謝

【被災地児童招待キャンプ寄付金】

- 個人
- 山本常雄、カスターニ、コウジ、アシハラ、ジュンコ、スギヤマ、ユウコ、コイズミ、ヒロミ、ロニー、アレキサンダー、今川聖子、多木秀雄、高垣善美、平本あかね、三木達至、松本隆太郎、由紀子、高原朝子、海士部大作、佐々江準矢、国村美由紀、小田彩香、和多田、勇、鈴木太郎、柘井、敦、ひとみ、藤田、位、竹田欣司、直子、石井美菜子、島田由紀子、山本加奈子、宇治田竜一、ファミリ、水村佐知子、江原伯陽、青木隆幸、山口雅美、村田俊浩、劉、錦揚、阪井美樹、鶴田幸、山元孝一、田村明子、村松加清、楠、啓子、増尾陽子
- 団体
- ワイズメンズクラブ国際協会六甲部各クラブ、神戸YMCAサウンデーチャペル、神戸YMCAサッカー交歓会、三宮YMCA国際協力バザー、西宮YMCA保育園、西宮YMCAカーニバル、西神戸YMCAワイワイまつり、三田YMCAクリスマス会、三田YMCAカーニバル、全国YMCAリーダー研修会、神戸YMCAボランティアユースリーダーOBOG有志、余島キャンプOBOG会

助成金

- 兵庫県社会福祉協議会、ひょうごボランティアプラザ、神戸市社会福祉協議会、生活協同組合コープこうべ、兵庫県遊技業協同組合、日本YMCA同盟、神戸YMCA被災地支援募金

【寄付金】

- 山口孜郎・和子(結婚55周年記念献金)、中條道雄・富川和彦・江原伯陽・岡田佑一郎・佐野信三 (敬称略、順不同)

~ 維持会員の集い ~ 落語の会

去る2月6日(土)に神戸YMCA会員活動委員会主催による「維持会員の集い」落語の会を開催致しました。今回で2回目を迎える落語の会ですが、100名を超える方々にご来場いただき、上方落語に親しみ、大いに笑い、楽しい一時を過ごしていただきました。

今回は落語家の林家染左さん、笑福亭由瓶さんをお招きし、本格的な上方落語はもとより、落語の入門のお話やお囃子の紹介など、落語がはじめての方でもとても親しみやすい内容でした。

ご来場いただいた皆様から「落語の楽しみ方をあらためて知ることができて、とても楽しかった」と喜びの声をいただきました。

今回は維持会員の皆様の紹介によって、これまでYMC

Aのことをあまりご存知なかった方に多数ご来場いただくことができました。今回の落語の会が神戸YMCAの活動の一端を知っていただくきっかけとなったことを嬉しく思っております。

また、会場ではご来場いただいた皆様に「ハイチ災害支援募金」へもご協力いただきました。今なお現地で苦しんでおられる方々へ日本YMCA同盟を通じて送金させていただきま

す。ご支援の手を差し伸べて下さった皆様にとこの場をお借りしまして御礼申し上げます。



第2回 神戸YMCAジムナスティクス交流会

2月7日(日)三宮YMCA体育館にて、三宮・須磨・西神戸・西神南のメンバー47名が参加し交流と親睦を深めました。今回が2度目の試みですが、午前中は参加者全員でレクリエーションゲーム、午後は、ワッペン毎のグループ練習の後、「レインボーワッペン」メンバーがデモンストレーションをしてくれました。会の締め括りの自分が「やってみたい!」「上手になりたい」技に取り組み「チャレンジタイム」も多いに盛り上がりました。

ジムナスティクス関連では発表会、大会が減少していますが、今回のように人の演技を間近に見て、互いに交流・親睦を深める機会が必要であると改めて感じました。評価を踏まえて次年度に繋げたいと思います。



ちよつとうれしいニュース

去る1月6日(水)に山口孜郎さん・和子さんご夫妻が、YMCAに御礼をされたという事で訪ねて下さいました。このご夫妻は今から55年前に、中山手にあつた第3期会館時代の神戸YMCAのチャペルで結婚式を挙げられて、当時の総主事であつた本城敬三さん(第4代総主事)のお世話でYMCAでの結婚式となつたようです。あの時は若かつたので何の御礼もできなかったもので、この御礼も遅いかもしれませんが、55年経過しているにも関わらず、YMCAを思い出していただき、多くの寄付を頂いたのは、こちらも感謝で嬉しいことでした。たまたま、その当時、会館におられたはずの今井鎮雄顧問も同席していただいで、昔話に花が咲きました。



左から今井顧問、山口ご夫妻、水野総主事

ソナタ 奏鳴曲 No.41



総主事 水野雄二

あなたは大切な人

じっとしていない。順番を待てない。ルール理解が難しい。会話が一方的……。このような子どもたちは周りにいないでしょうか? 神戸YMCAが西宮ランチで、このような「発達障がい」の子どもたちへのサポートプログラムを開始して今年で15年になります。(当時は「学習障がい児プログラム」と呼んでいました。) YMCAの全人的な教育活動が彼らの成長に効果的だと評価され、15年の歩みを続けてきました。「ちょっと変わった子」として邪魔にされたり、疎まれたり、時にはいじめに遭うこともある子どもたちが生き生きと「いのち」を輝かせる学習と体験の場を提供してきました。

発達障がいの研究が進む中、様々な訓練や教授法が考案され試行されてきました。しかし、根本的に大切なことは「周囲の理解」であり、子どもたち一人ひとりが特別な存在として慈しまれるべき対象なのだということです。

神戸YMCAのある保育園の保育士が、ある決意を語っていたのに感動しました。保育園のお友だちに対して、いつも爪を立て、引っかき、時には噛んだり、突き飛ばしたりする手に負えない子どもがいるそうです。保育士は、その子が産まれてまだ数年の子どもののに、どうしてこんなに心が荒れているのかと怒りや哀しさを感じていました。しかし、どんなに厳しく叱っても、必ずそこに「愛」があるように、と周りの保育士と確認し、その子には「あなたは大切な宝。神様が愛してくださる。私もあなたを愛している。」と繰り返し抱きしめることにしたそうです。今も行動は荒っぽいものの、徐々に友だちに手を出すことはなくなったということでした。

マザー・テレサの言葉に「あなたは、この世に望まれて生まれてきた大切な人。」(You are a precious person born into this world wanted.) という愛のメッセージがあります。この春休み、神戸ではマザー・テレサ生誕100年記念写真展が開催されます。誰も皆、大切な人として、弱く貧しい人と共に生きたマザーに倣うYMCAでありたいと願っています。

シリーズ こくさいのまど

神戸YMCAカレッジで日本語と中国語を見事に操るスタッフの関博さんにお話を伺いました。

2004年10月、私は留学生として来日し、神戸YMCA学院専門学校日本語学科で日本語の勉強を始めました。クラスには中国とインドネシアと韓国の学生がいて、日本人の先生を加えて、小さな「アジアクラス」でした。みんな最初は不安でしたが、だんだん簡単な日本語で一所懸命に話しかけるようになり、インドネシアの人は「理解できることもできないこと」と、理解できることもできないこと「ありましたが、とにかく楽しい日々を送っていました。それが私の「異文化理解」の最初の一步だったかもしれませぬ。

2年前に大学を卒業して、幸運にも神戸YMCAのスタッフになりました。毎日接する各国の学生、一緒に働く日本の仲間、「異文化」とぶつかりながら楽しんで来た私が、だんだん「この国の人はこうなんだ」という理論が通用しないことに気づいてきました。YMCAで学ぶ多くの外国の学生たちがそれぞれ鮮明な個性をもち、その人なりの魅力があり、共通点も沢山あります。始めはどの国の人とどう話したらいいか、国の文化に配慮しなければいけない、と考へてばかりいた私でしたが、逆に国籍や文化などの先入観を捨て、同じYMCAで出会った人として付き合いだしてから、うまくコミュニケーションが取れるようになりました。

文化の相違は、世界から見ると国により、国から見ると地域により、地域からみるとまた家庭、出身校により、誰と誰の間にも「異文化」があります。誰と誰の間にも「異文化」がいつぱいあると実感しています。誰でもきつと、「この国の人」として受け入れられるより、「この人だ」と思われたほうが喜ぶのではないのでしょうか。

日本に来て5年半の中で、YMCAには4年近く関わってきました。YMCAは私の日本と世界を臨む窓でもあり、実際に入っている国際の家でもあります。国際についてまだまだ未熟な私ですが、これからここにいるいろいろな人と出会い、異文化を考え、しかしながら概念にとらわれず、心で人びとと付き合っていきたいと思っています。

ウエルネスセンター三宮	078(241)7202
YMCAホームヘルパーの事務所	078(241)7237
ランゲージセンター	078(241)7204
専門学校	078(241)7203
西宮YMCA	0798(35)5987
三田センター	079(559)0075
余島野外活動センター	0879(62)2241
国際・奉仕センター	078(241)7204



ウエルネスセンター学園都市	078(793)7401
西神戸YMCA	078(793)7402
西神南センター	078(993)1560
須磨YMCA	078(734)0183
YMCA保育園	078(794)3901
西宮YMCA保育園	0798(35)5992
西神戸YMCA保育園	078(792)1011
YMCAちとせ幼稚園	078(732)3542
西神戸YMCA幼稚園	078(997)7705

卒業リーダー感謝

今年も学生時代の貴重な時間と力をささげ、YMCA活動の担い手になってくださったボランティアリーダーの皆さんが巣立っていきます。リーダーのご奉仕に心から感謝すると共に、奉仕活動を通して彼らが得たものがこれからの糧になることを願っています。

以下は、この春に卒業するリーダーの皆さんです。(順不同)

(西宮・宝塚)	足利枝里子 中川茉莉乃	石井 麻未 中瀬あゆみ	磯崎 彩 中田 敦子	市川 さの 山名 祐加	片岡 麻理 横田 悠介	上北 理紗	須貝 春香	鈴木 沙代
(三宮)	青木奈美子 菅原 麻由	岩崎万智子 竹中 芳香	榎本 紗代 田野 遥香	遠藤 彰子 土井 彩歌	大内 麻衣 西村 政憲	加賀麻美子 萩原衣里菜	垣 亜美 吉田 真穂	新藤由香利 和田守麻由
(三宮幼年)	高岡 大輔							
(国際)	玉井 沙季	鍵本 創						
(三田)	宮先 惟之	東浦 裕也	小林 裕子	山口 裕佳	畑末 愛	塚本依智恵		
(西神戸)	堀江 祐未 坂本 博基	高橋 伸之 三村 真由	今西 琢也 山本 実季	沖 愛子 小松優希子	笠居 舞 松本 里香	吉原 寛子 谷口 愛	坂口真衣子 影石 祐太	
(余島)	朝倉 隆文 横田 正道 城戸美恵子 村田 萌	北野 琢也 綿谷 賢人 日下部 萌 吉井 智栄	楠武 大 飯田美也加 指野 明香 吉田 美奈	長谷川貴士 岩本 陽子 白浜 麻美	久本 暁 馬谷 昌代 丹羽麻衣子	三浦 太郎 梅津真奈美 榎本真里奈	村島 自然 大森 愛子 宮崎 唯	



学生ボランティアリーダー OBOG同窓会

ユース委員会は、「若者の力を集める」「ボランティアOBOGが戻ってくる場を提供する」ことを大きなテーマとしています。

その一つの機会として1月9日(土)に神戸YMCA学生ボランティアリーダー OBOG同窓会を開催しました。

現在27歳くらいまでのリーダー OBOGに呼びかけ、職員や現役ボランティアリーダー数名合わせて約60名が集いました。思い出話に花を咲かせたり、ゲームやキャンプソングで全体が盛り上がったりと、乾杯から最後の挨拶までOBOGが中心となって進行しました。ユース委員会では、今後も継続的にリーダー OBOGが集う場を提案していきたいと思ひます。



2009 STAFF of The Year

大津 創さん(西神戸ランチ 準専任講師)



サッカーの枠に留まらず、YMCAの様々な活動について主事職の役割の一部を担い、職責をはたしてくださいました。今年度はオール神戸のサッカーイベントの運営主担当を担うほか、ランチの幼年プログラム、須磨センターへの応援なども行い、他の指導者やボランティアの良き模範となってくださいました。

住田美里さん(社会福祉法人 太山寺児童館 常勤の非常勤職員)



地域の子どもの育成事業、子育て支援、地域交流活動促進・交流事業に関わり、一人ひとりを大切に育てる視点で接し、子どもたちの居場所としての欠かせない存在になっています。学生ボランティアを組織し、子どもの作詞作曲体験プログラムや落語会の実施など能動的な関わりでチャレンジしてくださいました。

藤井尚子さん(ウエルネスセンター学園都市 専任講師)



成人のプールケアと幼少年をメインに担当し、非常勤・アルバイトへの安全研修を積極的に行いました。幼少年担当者として同僚、先輩の良き相談相手として信頼を得ています。三宮のバスケットクラスも担当し、自身のスキルアップにも努められました。

寺岡和紗さん(三宮ランチ 事務職)



幼年活動の事務の主担当として、様々な異例な事態が発生した年度でしたが、滞りなく対応してくださいました。長時間、多種のプログラムを有するランチの業務にも関わらず、全面的に事務所を守る姿勢で、いつも笑顔を絶やさず何事にも冷静に対応し、多くの方々からの信頼を得ています。

竹林由佳さん(西宮YMCAサポートプログラム 準専任講師)



メンバー及び保護者への丁寧かつ誠実な対応によって、絶大な信頼を得ています。今年度はLD学会にて、研究成果を発表し、精力的に発達障がい児理解・支援の啓発に取り組んでいます。また、関西の合同講師会でも企画立案に関わり、リーダーシップを発揮してくださいました。



個人消息

- 受洗 おめでとうございます
- 12/20 大津 創さん(西神戸ランチ)
- ご逝去 謹んでお悔やみ申し上げます
- 12/23 熊谷親啓さん(常議員)ご尊母様
- 1/16 坂本 滋さん(ちとせ幼稚園・須磨センター)ご尊父様
- 1/17 佐久間真人さん(同盟出向)ご尊父様
- 2/3 岩井義矢さん(ホームヘルパーの事務所)ご令伯父様
- ご誕生 おめでとうございます
- 12/30 山本亮司さん(三宮ランチ) ご長男 悠心(ゆうしん)くん

